

夢を追う
みんなへエール

Q2

アナウンサーという仕事に就いたきっかけは。

実は、もともとアナウンサーを目指していたわけではありません。大学時代、日本海テレビで報道番組の裏方アルバイトをしていた際、現場の熱意や雰囲気の魅力を感じ、「報道に携わりたい」「伝えたい」という思いが芽生えました。当初は記者志望でしたが、ご縁があり、アナウンサーとして働くことに。視聴者視線を大切にされた言葉選び、表情、伝え方を心がけながら、さまざまな情報をお伝えしています。地域の人たちの声に耳を傾け、自分の言葉でニュースを伝える楽しさと奥深さを実感する日々です。

鳥取でアナウンサーとして働く中で、うれしい場面は。

「発信する」ことで地元の方々に喜んでいただける瞬間です。幼い頃からお世話になった先生や知人、家族などから取材の情報提供をいただいたり、講演や司会を依頼されたりと、仕事の幅が広がることもあります。皆さんの笑顔を見ると、この仕事を選んで良かったと心から思います。地元出身ならではの強みを感じる場面ですね。

Q4

仕事をする上で大切にしているモットーや考え方はありますか。

「感謝と謙虚の気持ちを忘れない」です。現場はチームで動いており、周囲の支えがあってこそ今の私があります。感謝を直接言葉で伝えることで、互いに気持ちよく仕事ができ、より良い番組づくりにつながると考えています。また、謙虚さは挑戦の原動力です。「私はまだまだ」と自分に言い聞かせ、自己研鑽(さん)しながら仕事の幅を広げたいと思っています。現在はキャスターとして『One LIFE&NEWS』の月～水曜日を担当していますが、全国放送のドキュメンタリー制作を目標にしています。リサーチや先輩方への相談を重ねながら、ディレクターとしても活動しています。

Q5

最後に、鳥取の高校生に向けてメッセージをお願いします。

夢中になれることを一つ見つけて、卒業までにやり遂げてほしいです。「やり切った!」と思えるくらい全力で取り組んでみてください。結果が成功でなくても大丈夫。失敗も次のステップへの大切な経験になります。「やらない後悔よりやる後悔」という言葉がありますが、本当にその通り。必ず将来役立ちます。挑戦することで可能性は広がってくるはず。応援しています!



中山 紗希

Saki Nakayama

日本海テレビジョン放送株式会社
報道制作局報道制作部 アナウンサー

PROFILE

1994年8月22日、鳥取市生まれ。アナウンサー、記者、防災士。鳥取大学在学中に「第19代鳥取しゃんしゃん鈴の音大使」を務めるなど、地域の魅力発信に貢献。卒業後、NHK鳥取放送局の契約キャスターを4年間務め、2022年4月に日本海テレビに入社。『One LIFE&NEWS』の月～水曜日キャスターを務めるほか、記者としても地域報道に携わる。

Q1

鳥取で生まれ育った中山さんが感じる、鳥取ならではの魅力は何ですか。

一番の魅力だと思うのは「人」です。取材でもプライベートでも人の温かさを感じる事が多いです。サウナで初めて会った祖父母世代の方から「いつも見てるよ～!頑張ってね!」と声をかけていただくこともあります。こうしたやり取りが日常的にあるのは、人口が少ない鳥取ならではのだと思います。幼い頃から地域の皆さんに見守られてきたぬくもりを、今も感じながら過ごしています。

